

事業所名

心身障害者福祉センター（荒川たんぽぽセンター）

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		・ 自立を促す支援をしていきます。 ・ 一人ひとりに合った支援と一緒に考え実行していきます。 ・ 住み慣れた地域でより良く生活していくために支援していきます。								
支援方針		個々の発達段階や特性を理解し、成長発達を促すことで、子ども一人ひとりが持つ力を発揮し、未来の可能性を広げられるよう支援していきます。								
営業時間		9 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・ 健康状態の維持・改善を土台とし、安全に生活できるように支援します。一人ひとりの障がいの特性及び、発達の過程を理解し、十分な配慮の中、細やかな観察を行っていきます。 ・ 生活習慣を形成し、適正な生活リズムを身につけられるように支援していきます。一人ひとりの発達段階や体調に応じ、食事、排泄、着替え、手洗いなどの支援を行います。 ・ 生活の中で、様々な遊びを通し自分で身の回りのことに取り組めるよう、成功体験を積み重ねながら自立を支援を行います。								
	運動・感覚	・ 姿勢と運動・動作の向上に努めます。 ・ 遊びを通して、全身を使った粗大運動や手指を使った微細運動を取り入れ、身体機能や運動能力の向上を図ります。マット運動、平均台、鉄棒、ボール遊び、感覚遊びなどを実施し、姿勢やバランス、身体の使い方を育むとともに、さまざまな感覚を経験できる機会を提供します。								
	認知・行動	・ 一人ひとりの認知の発達、理解度に応じて環境を整え、自ら考え行動できる力を養います。 ・ 遊びや課題活動を通して、色・形・数・大小・時間・空間の概念形成を促します。 ・ 見通しを持って活動できるよう視覚的な支援を活用し、集中力や考える力、問題解決能力を育てます。								
	言語 コミュニケーション	・ 絵本や手遊び、歌、ごっこ遊びなどを通して言葉への興味を育み、自分の気持ちや要求を相手に伝える力を支援します。 ・ 絵カードや写真カードなど、一人ひとりに適したコミュニケーション手段を活用し、相手の話を聞く力ややり取りを楽しむ力を育てます。								
	人間関係 社会性	・ 個別活動や集団活動を通して、友達や職員との関わりを広げ、信頼関係を築きます。 ・ 順番を待つ、ルールを守る、役割を担うなどの経験を積み重ねながら、協調性や社会性を育みます。また、自分や相手の気持ちに気付き、適切に表現できるよう支援します。								
家族支援		・ 保護者との信頼関係を大切にし、連絡帳や送迎時の情報共有、定期的な面談を通して、お子さんの成長や課題を共有します。 ・ 家庭での関わり方や子育てに関する相談に応じ、安心して子育てができるよう継続的な支援を行います。				移行支援		・ お子さんのライフステージの切り替えを見据えながら、ご家族と話し合いをしていきます。 ・ 在籍園での集団生活や地域との繋がりにおいて、お子さんが安心して日常を過ごすことができるよう、お子さんに合わせた関わりやご家族との話し合いを大切にしていきます。		
地域支援・地域連携		保育所・幼稚園・認定こども園、相談支援専門員、医療機関などの関係機関と連携し、情報共有やケース会議を通して一貫した支援を行います。 また、就学や進級などライフステージの変化に応じた円滑な移行支援に努めます。				職員の質の向上		・ 虐待防止研修、感染症対策研修の実施 ・ 医療的ケア・発達支援研修への参加 ・ 定期的な職員会議、ケース検討の実施		
主な行事等		・ 季節に合わせた活動や遊びを取り入れていきます。（端午の節句・七夕・ハロウィーン・クリスマス・ひな祭り 等） ・ たんぽぽフェスタ開催 ・ 食育活動（たんぽぽフェスタ時にレシピ紹介・配布）								